

署名にご協力をお願いします！

普天間返還！新基地断念！ 「日米共同声明」撤回！

もはや無効！5・28「日米共同声明」

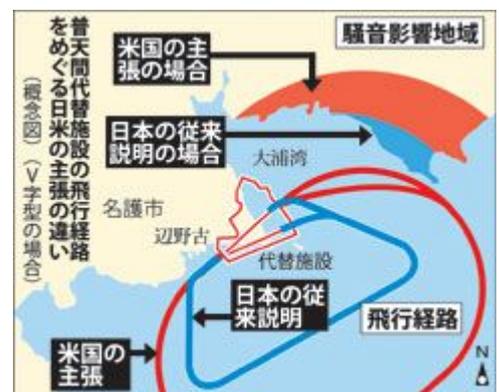
沖縄の民意を切り捨てて、5月28日に崩壊直前の鳩山政権が強行した「日米共同声明」ですが、この中で合意された辺野古への新基地建設計画の詳細を報告する段階になって、計画の重要な問題で、日米間の認識の相違が次々と明らかになっています。これらは“合意”そのものが無効であることを示しています！

日本政府の飛行経路説明にウソ——米側「正直に説明すべき」！

辺野古への新基地建設計画について、滑走路2本のV字型案の飛行経路について、日本政府のこれまでの説明がウソであった可能性が高まっています。日本政府は、2006年の米軍再編ロードマップ合意以降、米軍の飛行経路を、周辺住宅地に極力近づかないような「台形」にすると、地元沖縄側に説明してきたのですが、実際には、米側が言うには「航空機が台形に飛べるはずがない。標準的な楕円形の経路で飛ぶ。沖縄に正直に説明すべきだ」ということになりました。米側は、この点を日本側に繰り返し指摘してきたといっています。

日本側は、飛行経路について「米側はこれまで異論を挟んでこなかった」と反論をしているようですが、米側は「運用実態に合わない」「われわれは了承したことはない」と主張しているということです。基地ができてしまえば、どうなることかは明白です。

この事実は、政府の従来の説明に基づいて行われてきた環境影響評価（アセスメント）が無効となることを意味しています。新基地を条件付で容認してきた人々にとっても許せる話ではないのではないのでしょうか？わたしたちは、ウソで地元住民の反発をねじ伏せて、新基地建設を強行しようとするやり方に断固抗議します。辺野古への新基地建設計画は白紙撤回すべきです。



普天間代替施設の飛行経路をめぐる日米の主張の違い
(2010年8月24日 琉球新報より)

辺野古の新基地に自衛隊常駐計画！——米側は迷惑！

「日米共同声明」に盛り込まれた「日米間の施設の共同使用」のひとつに、防衛省が、辺野古新基地への自衛隊の常駐計画を検討していることが明らかになりました。自衛隊なら地元を受け入れられやすいという意図があるようですが言語道断です。一方、自衛隊の常駐は、米軍側からも軍の運用が制限されることからいやがられています。「共同使用」は米軍管理下の「一時使用」が米側の理解で、ここでも日米間の認識の相違が明らかになりました。

共同声明撤回へ！声を上げましょう！

以上の話だけでも、菅政権が踏襲する「日米共同声明」が、いかに国民不在のものであるかがわかります。米側との「合意」もいかに加減なものだとわかります。この共同声明撤回へ！署名にご協力を！ (2010.8.29)

抗議

相模補給廠での焼夷弾爆破処理

土壌汚染や不発弾がどんどん見つかるって 基地内はいったいどうなっているの!?

8月27日に、相模総合補給廠で100発の不発弾(焼夷弾)の爆破処理が、市民が抗議の声を上げる中で強行されました。昨年12月に実施されたものに続くものです。写真の通りの光景・騒音で周辺住民、病院、保育施設などの関係者の不安はいかほどのものであったかと思えます。市民の不安をよそに爆破を強行した米軍に抗議したいと思えます。

この不発弾は、米軍再編計画により進められている戦闘指揮訓練センター建設現場の地下から発見されたものですが、昨年の90発に引き続きまた100発とは、一体この基地の地下は、どうなっているのでしょうか?さらに、訓練支援センター建設予定地の地下は、土壌汚染が疑われていて、土壌汚染の調査・除去工事が行われることが明らかになりました。

詳細は明らかにされていませんが、米軍は、基地内の土壌汚染の実態・危険物埋設の実態のすべてを市民に明らかにするべきです。その上で、全面的な汚染除去・危険物の除去をするべきです。そして市民に返還するべきです。皆さん声を上げていきましょう!(2010.8.29)



今回は、穴を掘って埋めてから爆破処理をしたということで爆破の瞬間、大きな土柱が舞い上がりました。

案内

●講演会:変貌するキャンプ座間と自衛隊 陸自・中央即応集団司令部がやってくる

講師 半田滋氏(東京新聞編集委員)

日時:9月11日(土) 18:00~20:00 (17:30開場)

会場:サニープレイス座間 3階 多目的室

(座間市役所となり 相武台前駅から徒歩15分、座間駅から徒歩20分)

主催:キャンプ座間強化に反対する市民連絡会 資料代:500円 学生:300円

●「普天間基地の無条件返還と辺野古・徳之島への移設断念を求める署名」 第1回提出 首相官邸前行動

日時:9月10日(金) 18:30~ 場所:国会記者会館前路上(首相官邸の向かい側)

主催:辺野古への基地建設を許さない実行委員会

●沖縄フォーラム IN 東京 普天間は問いかける

発言者:新崎盛暉さん 浦島悦子さん 長谷川均さん 屋良朝博さん 前泊博盛さん などなど

日時:9月23日(秋分の日) 開場:9:30 開会:9:45 終了:16:30

会場:明治大学リバティホール(明大駿河台校舎リバティタワー1F/御茶ノ水・新御茶ノ水・神保町駅下車)

主催:沖縄フォーラム IN 東京 実行委員会 参加費:1000円(学生500円)